

高石市議会議員 山敷めぐみ 議員活動報告 ～子どもの幸せが広がるまちへ～

めぐみ通信

Vol. 10

2013(H25) 年 7月



減り続ける人口… ブランド戦略、今ですか？

目次

- P.1 人口減への対策は？
- P.2 ブランド戦略で伽羅橋駅周辺が…
- P.3 企業バスターミナルを高師浜駅に！？
- P.4 個人情報クラウドに・・・

下の表は各市の人口推移です。3市の中で高石市だけが人口減です。特に0歳から14歳までの子どもが減っています。日本全体が人口減の時代に突入した今、高石市として何をしたら人口増になるのか。それが喫緊の課題であるはずですが。今やるべきことはブランド戦略で「花火」を上げることなんでしょうか……。スマートウェルネス計画で「せせらぎ」を作ることなんでしょうか……。

	高石市		和泉市		堺市	
	平成22年	平成25年	平成22年	平成25年	平成22年	平成25年
総人口	59184	58572	184988	187303	841966	849710
0～14歳	8861	8479	29019	29698	117750	121288
総人口	-612	-1.0%	+2315	+1.3%	+7744	+0.9%
0～14歳	-382	-4.3%	+679	+2.3%	+3538	+3.0%

ブランド戦略って？

ブランド戦略というのは「ブランド戦略公共交通活性化検討協議会」において検討された、主に高師浜線を活性化させるための「戦略」です。6つある「戦略」の成果を合計すると「現在の1日の高師浜線乗客約1800人が1万人になる」そうです。

5月の下旬に花火がありましたが、あれは戦略の中の「シーサイドフェスティバル」の一環で市の最初の予算は1300万円でした。しかし収支見込みによると1500万円以上のお金が掛かったようです。それで高師浜線の乗客は前の週と比べて『28人の増加』だった、と議会で報告がありました。

1500万円以上のお金をかけて28人……。正式な決算はまだ出来ていないようですが、「お金がない」といって幼稚園を廃止し、公立保育所を廃止・民営化し、ゴミを有料化している市のすることとは思えません。これで人口を増やそうとしているのでしょうか。「子育てがしやすい」「安心して年を重ねられる」というまちに人は集まると思うのですが。

ブランド戦略で伽羅橋駅周辺が…

また、ブランド戦略では伽羅橋駅高架下に「スイーツ街」を作り伽羅橋駅を「伽羅橋スイーツ駅」にすることを検討している、という担当者の答えが昨年（平成25）の12月議会でありました（下記議事録参照）。

ご答弁申し上げます。

現在、資料に載せさせていただいていますスイーツ駅については、例えば高架下を活用することによってそういう副名称がつけられるのではないかという検討がございますので、よろしく申し上げます。

そのために伽羅橋公園の緑を撤去しオープンカフェにする案がありました。しかし現在は、「スイーツに限定せずに店舗を募集する」となっています。

それにも関わらず、伽羅橋公園の緑の撤去は見直されないようです。オープンカフェを作ったら果たして毎日伽羅橋駅を利用する人数が4倍以上に増えるのでしょうか。実は、市は「増えない」と認識しているのです。驚くことに国の補助金3000万円余りの申請書類には伽羅橋公園整備で、平成22年度に881人だった乗客が平成29年度に同じ881人になる、と書いてあります。計画では公園整備の目的を「利用者の拡大」としながら利用増の効果はないと言っているようなものです。不思議なことです。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	大阪府	市町村名	高石市	地区名	高石市羽衣駅周辺地区	面積	274.1 ha
計画期間	平成24年度～平成29年度	交付期間	平成25年度～平成29年度				
目標を定量化する指標							
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
歩行者入込数	人/日	芦田川セントラルパーク利用者数	公園整備(親水空間・ウォーキングロード)により、芦田川公園施設利用者の増加を図る。	130	H24	210	H29
伽羅橋駅乗車人数	人	乗車人員一日平均	伽羅橋公園の広場整備により、利用者の拡大が図られ、乗車人数の増加が見込まれる。	881	H22	881	H29
イベント開催数の増加	回	ウォーキングロードにおける年間イベント数	イベント開催により、魅力のある都市空間の創出が図れる。	2	H24	5	H29
歩行空間等の満足度上昇率	点	地域住民の住環境に関するアンケート調査による満足度＝5段階評価した回答を点数化	市民のウォーキングロードの利用意欲の醸成を図る。	3.1	H23	3.4	H29

881人の謎…?

(表は平成25年3月付の都市再生整備計画の補助金申請書より抜粋)

伽羅橋公園は地元ボランティアの方々が精魂込めて育てたお花が美しく咲いている方が魅力的です。お店を誘致するよりも市民も市外の方も利用できる、例えば宝塚市の「フレミラ宝塚(老人福祉センター・大型児童館併設)」のように子どもたちや高齢者が利用できる施設などを作る方が活性化になると考えます。もっともっと市民の声を多く聞き市民と共に進める姿勢が必要だと議会でも何度も申し上げたのですが全くご理解頂けず、どんどんと戦略は進んでいきます・・・。

ブランド戦略で企業バスターミナルを高師浜に移転！？

羽衣駅西側にある臨海企業のバスターミナルを高師浜駅前に移転させるとブランド戦略では位置づけられていますが、現時点では十分に企業のご理解は得られていません。しかし市は下記の通り346万5千円でコンサルタント会社に移転業務の委託を行いました。

実際に移転するとなると莫大な税金が投入されることとなります。そのことによって市民生活が大きく向上するのでしょうか。財政に余裕はありません。企業にも市民にも喜ばれる施策を推進するよう、今後もしっかりと訴えていきたいと思えます。

業務委託契約書



委託契約書
抜粋

委託業務 平成25年度市内公共交通計画策定等委託業務
 履行期間 平成25年5月30日から平成26年3月25日まで
 履行場所 高石市域全域及び堺市域の一部
 契約金額 ¥3,465,000円(消費税及び地方消費税を含む。)
 契約保証金 契約金額の100分の10に相当する額
 (但し、高石市契約規則第46条いずれかの号に該当する場合は免除)

上記の委託業務(以下「委託業務」という。)について、委託者高石市(以下「甲」という。)と受託者株式会社まち創生研究所(以下「乙」という。)は、次の条項により委託契約を締結する。

第2条 (業務の目的)

平成24年度高石市ブランド戦略公共交通活性化検討協議会において決定された6施策のうち、「企業バスターミナルの移転」について、羽衣及び高石バスターミナルの高師浜駅周辺への集約及び臨海各企業が運行している自社従業員向け送迎バス(委託運行を含む。)を共同化することにより、臨海企業従業員の利便性向上を図るとともに、府道堺阪南線及びその周辺交通の渋滞緩和やCO₂排出削減に伴う温暖化防止等に寄与することを目的として実施する。

本業務委託では、現ターミナルの高師浜駅周辺への集約及びバスの共同化に関し、臨海企業の需要調査及び状況整理、共同バス運行計画立案、講演会及び勉強会の運営支援等を実施する。

自治体クラウド補正予算可決

来年4月から遠隔地(関東地方)にある業者のサーバに高石市の全ての情報を送り管理をしてもらう、という「自治体クラウド」の導入予算が計上されました。職員給与や文書管理などの情報は来年4月、住民記録・市税・国保情報などは10月に導入するそうです。しかし、事前に行われるべきと思われる高石市電子計算組織管理運営委員会や個人情報保護審査会は開かれていません。

情報産業でさえ「人的なミスは故意・不注意にかかわらず必ず起こる」「システムトラブルがあればクラウドは使用不可能になる」と警鐘を鳴らしています。しかし高石市は「デメリットはない」と答弁し、急いで導入しようとしています。現時点での導入は危険すぎると判断し、共産党の出した修正案に賛成し原案には反対しましたが可決されてしまいました。大切なことが議論不十分なまま決定されることに不安を覚えます。

スマートウェルネスシティ（SWC）計画

国民健康保険に加入する40歳～74歳の高石市民約11,000人分の個人情報、市民にはほとんど何も知らされないままに「つくばウェルネスリサーチ（株）」の**健康クラウド**に送られてしまいました！こんなことをしているのは、全国でも高石市を含む6市（新潟県見附市・三条市、岐阜県岐阜市、福島県伊達市、兵庫県豊岡市）だけです。

送った情報の内容は、生年月・性別・小学校区、入院・通院、病名・診断年月、身長・体重・腹囲・血圧・飲酒量、介護サービス年月・介護認定内容、医療保険資格取得年月日・喪失年月日などというもので、私は匿名化されていても個人の特定が可能な「個人情報」に当たると考えています。市はこの情報を「健康施策立案に利用」と言っていたので利用方法の文書公開を求めると、これらの情報の分析結果が3月に出ていたにも関わらず「文書を作成していないため文書不存在につき非公開」だそうです。

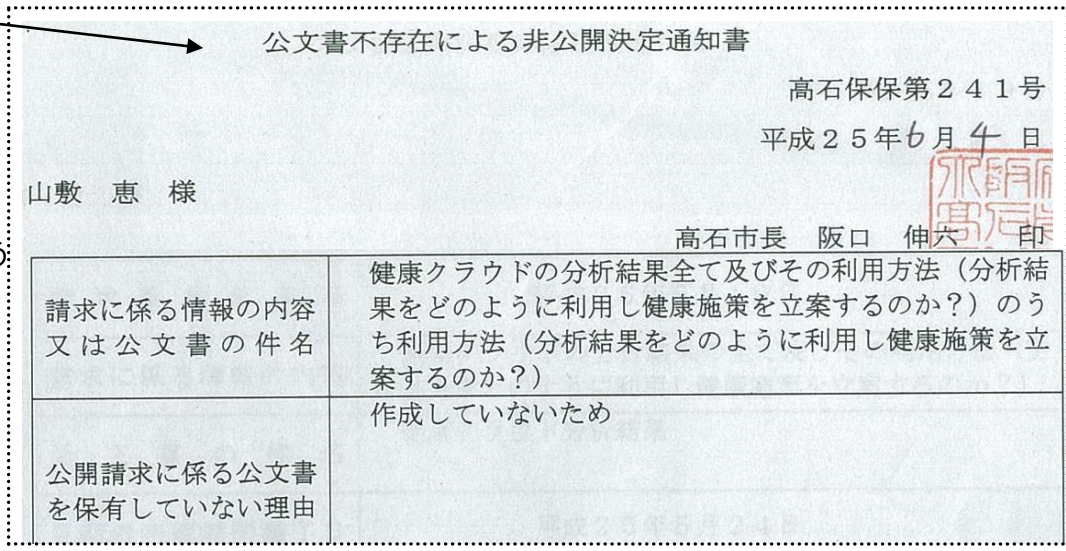
市民の個人情報を株式会社へ送るだけ送って利用方法も決まっていなかったというのは、あまりにも無責任です。

結果の有効利用も出来ないのに、個人情報の中でも一番

他人に知られたくない病気や介護の情報を本人の承諾もなく第三者に提供したのです。これは許されないことだと思います。

さらにSWC計画では、7月6日に開通した道路（南海中央線）に「せせらぎ」を作り、市民が歩きたくなる→健康になる→国保給付費削減と謳われています。せせらぎには水道水が流され、5000万円以上かけて設置されたポンプで循環させます。節電・節水が呼び掛けられている中、市民の理解が得られる設備ではないと思います。

もちろん今後は水道代・電気代も必要になってきます。税金の無駄遣いではないでしょうか。



クリア高石の第8回議会報告会を行います。
ぜひお越しください！いずれも午後7時からです。
◆7月18日(木)とろしプラザ3F(取石公民館)
◆7月19日(金)パンセ羽衣3F(羽衣公民館)

発行：山敷めぐみ

事務所：高石市羽衣5-14-13
 072-262-3979
 yam4-meg3@ezweb.ne.jp

WEBサイトもご覧ください

<http://yamashikimegumi.com/>